

# 安倍政権の「1億総活躍社会」 若者、女性、高齢者の一層の「活用」

◆安倍首相は、戦争法から経済に国民の目をそらすために、「1億総活躍社会」を実現するとしています。その具体策として、「希望を生み出す強い経済」(GDP600兆円等)「夢を紡ぐ子育て支援」(出生率1.8等)「安心につながる社会保障」(介護離職ゼロ)の「新3本の矢」を打ち出しました。しかし、そのどれもが、自公政権が壊し続けたものばかりです。

◆下の表をご覧ください。国税庁の調査(2014年分)によれば、年収200万円以下(ワーキングプア)の労働者の割合は24.0%。ことに女性では42.9%にのぼり、5000人以上の大企業では27.2%、うち女性51.8%と比率が高くなっています。

◆今国会に上程されている「雇用保険法等の一部を改正する法案」には、シルバー人材センターの規制緩和も盛り込まれています。シルバー人材センターを通じて働く高年齢者の労働時間の上限を、現在の週20時間以下、月10日程度から、週40時間まで引き上げようとしています。

◆「少子高齢化が進展する中で高齢者、女性等の就業促進及び雇用継続を図るため」などと言いながら、安倍政権は、働かなければ年金だけでは暮らせない社会をつくっています。

◆暮らしへの不安に乗じた、若者、女性、高齢者の使い捨ては絶対許せません。

## 5野党共同で戦争法 廃止法案を提出(2/19)



(上写真)戦争法廃止署名 連日届く  
2・14 長野行動で配布したチラシに折り込んだ「戦争法廃止署名」が、連日長野労連に届いています。2/25 現在 115 筆。

署名を集めましょう

### ★女性の43%がワーキングプア(右表)

年収200万円以下の労働者の割合  
2005年～2014年の変化 (%)

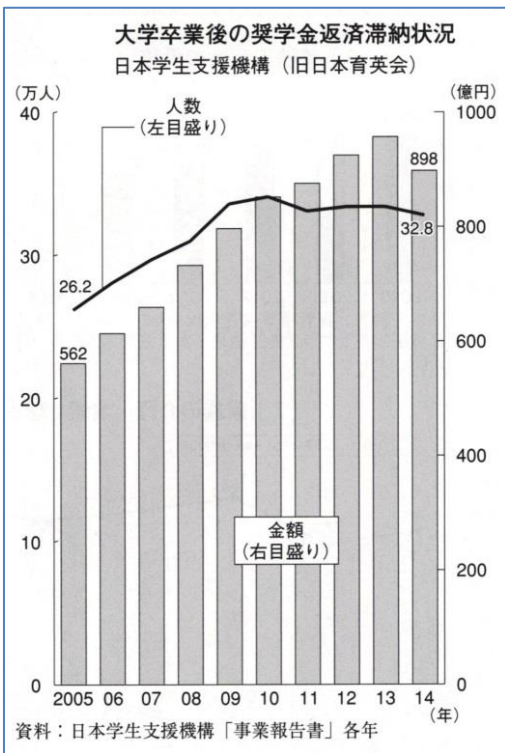
		2005年～2014年の変化 (%)		
		男	女	計
全体	2005	8.9	42.8	21.8
	2014	10.8	42.9	24.0
1～9人	05	16.4	50.9	32.3
	14	19.1	53.3	35.0
10～29	05	10.2	42.3	22.0
	14	10.7	43.2	23.5
30～99	05	7.7	39.1	19.3
	14	10.0	37.5	20.9
100～499	05	6.2	35.5	17.2
	14	8.1	34.8	18.9
500～999	05	6.0	46.6	16.2
	14	7.5	36.0	18.8
1000～4999	05	6.3	44.2	19.4
	14	8.4	42.3	21.6
5000人以上	05	6.2	52.0	22.8
	14	9.4	51.8	27.2

資料：国税庁「民間給与実態統計調査」



## 戦争法廃止！壊すな憲法 大幅賃上げと雇用の安定を 平和と暮らしを守れ3・17 宣伝行動

◆3月17日(木) 18:00～18:30  
◆長野駅(善光寺口)  
★戦争法廃止署名も呼びかけます。



## 「奨学金」が貧困につけこむビジネスに 返せない→訴訟・財産差し押さえも

- ◆長野県が来年度予算案に、大学生への給付型奨学金拡充を盛り込みました。「貧困と格差の拡大」に対抗する、教職員組合の長年の署名運動をはじめとする、議会内外の運動の大きな成果です。
- ◆奨学金の受給者は増加を続けています。同時に、就学の段階で借金を抱え、社会に出た段階で高額な返済義務を負わされ、返済滞納者が増加しています。（左グラフ参照）
- ◆返済滞納の回収強化にのり出したのは、小泉政権下の2004年に、日本育英会が独立行政法人「日本学生支援機構」に移行してからです。訴訟は2012年度が6193件。8年前の100倍です。
- ◆異常な高学費と低賃金・不安定雇用、そして「サラ金化」した奨学金制度で苦しむ若者をつくりだす政治を、変えましょう。

# 福島原発事故から5年

## 原発再稼働NO！

つながろうフクシマ！ひろげよう脱原発！

### 3・13 長野行動

◆日程：3/13（日）13：00～音楽ひろば 13：30～集会 14：10～パレード

◆場所：長野市南千歳公園

★みなさん誘い合ってご参加ください★

### “賠償打ち切りは乱暴だ”

福島200人が政府・東電と交渉

ふくしま復興共同センターは1月15日、200人が上京、営業損害賠償の打ち切りや、住民合意のない避難指示解除を行わないことなどを政府、東京電力に強く求めました。

政府と東電は、「居住制限区域」などの避難指示を解除し、精神的賠償、営業損害賠償、風評被害賠償の打ち切りを狙っています。

代表団は「一人災である事故が収束しないなかでの、避難指示解除と賠償打ち切りはきわめて乱暴だ。とうてい許されぬ。県民の実態を誠実に受け止めてもらいたい」とせまりました。

## 加盟組合紹介

## JMITUコーエープラス支部

★春闘要求アンケート 昨年の3倍集約

私達JMITUコーエープラス支部は、現在も5名の組合員で活動を続けています。

2016春闘では組合未加入の従業員の考えや思いを知るため、まずアンケートに取り組みました。

昨年行ったアンケートは回収率が非常に悪く、内容も組合に対する批判がほとんどで春闘に活かすことはできませんでした。

そこで今回は回収日の前に「みなさんの意見を要求に反映したいので、ぜひアンケートに協力してください」と、一人一人に呼びかけたところ、昨年の3倍の数のアンケートを回収する事ができました。

内容も参考になるものが多く、組合未加入従業員のみなさんの考えが私達組合員の考えとあまり変わらないことが分かり、自信を持って要求を決めることができました。

春闘では要求実現のために、最後まであきらめず取り組んでいきたいと思っています。

また、私達にとって最大の課題である組織拡大についても、今回のアンケートをきっかけに未加入従業員の人達との対話を深め、粘り強く組合員が一丸となって努力していきたいと思えます。

書記長 大島 縁